

「アミロイドーシス病型診断のためのウサギモノクローナル抗体開発する場合」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年11月12日～2025年11月30日

〔研究課題〕

アミロイドーシス病型診断のためのウサギモノクローナル抗体開発

〔研究目的・意義〕

全身性アミロイドーシスの代表的病型であるAL κ AL λ ATTRアミロイドーシスを良好に鑑別できるウサギモノクローナル抗体を作成します。これらの抗体を日本国内はもとより全世界に配布することにより、病型診断のための免疫染色を標準化することが出来、一般病理施設でのアミロイドーシスの正確な病型診断が実現します。

〔対象・研究方法〕

(1)帝京大学医学部附属溝口病院で1991年10月1日から2022年9月30日の間に病理解剖を受け、全身性AL、ATTR、AAアミロイドーシスと診断された方。年齢、性別は問いません。

(2)研究機関の長の許可日～2025年11月30日にアミロイドーシスに関する調査研究班に病型診断の依頼があり、ALまたはATTRアミロイドーシスと診断された方。年齢、性別は問いません。

〔研究機関名〕

1. 研究代表機関および研究代表者

福井大学医学部 病因病態医学講座 分子病理学 教授 内木 宏延

2. 共同研究機関等

熊本大学大学院生命科学研究部 脳神経内科学、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 人体病理学、慶応義塾大学医学部 循環器内科、京都府立医科大学附属病院 病理診断科／人体病理学教室、日本医科大学付属病院 病理診断科、東京女子医科大学 病理診断科、東京都健康長寿医療センター 病理診断科

3. 本学は研究には参加せず、試料提供のみを行います。

〔個人情報の取り扱い〕

特定の個人を識別することができない試料を提供します。また病理診断名(アミロイドーシス)の情報も提供します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：阿曾 達也

職名：講師

所属：帝京大学医学部附属溝口病院 病理診断科

住所：神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1 TEL:044-844-3333(代表) [内線 3384]